

イントラネットからエクストラネット (2)

イントラネットは、インターネットの様々なメリットを取り入れて実現するものですから、インターネットの利用技術の進歩はそのままイントラネットの進歩につながりますが、イントラネットは、インターネット経由でデータのやり取りを行う必要はなく、社内LAN上で構築する事がもちろんできます。専用線で結ばれたプライベートネットワークで構築する閉じられたインターネット、それがイントラネットという事ができます。

イントラネットの第一段階は情報の共有化です。イントラネットのサーバを導入し、ブラウザソフトをパソコンに組み込む事によってイントラネットを構築する事はできますが、これまでに導入した企業では、社員相互の情報の共有化を目的としたユニークなサービスを提供しています。例えば、電子掲示板をベースとした電話帳や広報資料、新製品情報などの掲示・公開です。また、時刻表やクラブ活動案内など社員の生活に一步踏み込んだ情報を提供している企業もあります。第一段階では、ユーザがイントラネットの利便性やユーザビリティを体感する段階です。イントラネットからはいつでも新鮮な情報が手に入れますから、必要に応じて各自がダウンロードしたりカットアンドペーストによって情報を再利用できるため、お仕着せの情報共有ではなく選択権がユーザにある共有化となります。また、管理部門にとっても、情報の管理を各部門に委ねられたり、システム構築コストの低減と管理の容易さを傍受する事ができます。

第二段階はデータベースとの連携・活用です。情報の共有を行っているうちに出てくるのが、社内の様々なデータベースへのアクセスの要望です。既存のデータベースへのアクセスにおいては、サーバ側で検索処理を引き受け、ナビゲーションのみをブラウザで行います。Javaなどの技術を使う事によってデータベースへの新規作成、追加、変更が可能となり、リモートアクセスが日常的になります。この事により、社内の基幹系情報システムとのインターフェースとして利用する事ができるようになり、庶務作業を軽減する事ができるようになります。この段階でもう1つ重要なのはドキュメント管理です。企業では様々な情報がいたるところで作成されていますが、別の部署からはアクセスが大変になっています。そのためにキーワードによる検索エンジンをサーバに搭載したり、トピック後とにドキュメントを分類・整理するドキュメント管理が行われます。このことにより、関連する情報を広範囲で獲得する事が可能になり、検索も容易になります。

イントラネットは、サーバ側のシステムを構築する事によって、利用者側はブラウザソフトだけでよいという、管理者としては管理しやすいシステムです。そのため、サーバ側で利用者側にどのように情報を供給できるかがシステム成功の鍵という事ができます。端末のパソコンの状態にあまり影響されないシステム。その発展段階において、基幹システムを取り込み、画像、映像などマルチメディアも取り扱えるようになってきています。

(情報誌トピックス)

○ 経 済 電 子 誌 5月26日号

特集 イントラネット、3年目の真実

→登場から3年たちイントラネットが普及期を迎えて、先進ユーザは導入に成功しているが、構築を初めてわかる問題点もある。

特集 プロジェクト管理が成否を決める

→大規模C/Sシステムの導入を成功に導くには、プロジェクト管理が決め手となる。ポイントは見積もり精度の向上、仕様の膨らみ防止、ノウハウの共有、開発ツールに有った管理の実施、管理ツールやグループウェアの使用の五つ。

レポート オラクルのマイクロソフト打倒計画

→オラクル会長のロングインタビュー

○ 経 済 電 子 誌 5月19日号

特集 移動体データ通信、表舞台に躍り出る

→PHSの32kデータ通信により電子メールを中心とした移動体データ通信が表舞台に躍り出た

論文 家庭内ネットワーク向けインターフェース「IEEE1355」

→IEEE1355はパソコンやテレビを結んでデータをやり取りする家庭内ネットワーク向けのインターフェース

○ 経 済 電 子 誌 6月2日号

特集 見えてきた米国の家庭用情報端末

→家庭の今で使う情報端末はパソコンではなく、300ドル以下で、インターネットに積極的に接続するのではなく、テレビと融合し、テレビからの情報以上のものを得る場合に自然に活用できるものになる。

○ 経 済 電 子 誌 5月19日号

特集 表計算ソフト入門～もう恐くないEXCEL97、1-2-3 97

→多機能になって表計算ソフトの基礎知識を15ステップに分けて紹介

特集 Pentium II搭載パソコン登場

→ベンチマークで実力診断

レポート ISDNで失敗しない10のポイント

→自宅で快適にインターネットをするためにISDNを引くには

○ 経 済 電 子 誌 6月2日号

特集 パソコンの寿命は2年

→だんだん寿命が短くなるパソコン。ハードとしてはまだまだ使えるものも、アプリケーションや使い方を考えると2年が寿命

シリーズ 何かと不安な電磁波の影響を正しく学ぶ

→電磁波の問題が取りざたされているが、きちんと整理してその影響を正しく理解したい

レポート 「M e m p h i s」の使い勝手を評価

→W i n d o w sの次期バージョン「M e m p h i s」を評価

○日経パソコン 5月号

特集 次世代パソコンの夢と現実

→どんどん使いやすくなりそうなパソコンの夢と進まない対応の現実

解説 パソコンの次にくるものW i n d o w s C E

→あらゆる物への搭載を想定したW i n d o w s C E。日本ではどうなるか

解説 遅いインターネットに挑戦するビデオ配信システム

→ビデオ配信システムが急増しているが、低速のインターネットにいろいろな方法で対応している

○アスキー 6月号

特集 ここまで来ているデジタルビデオ

→デジタルビデオの基本原理から始まって最新技術まで

特集 第3次C P U大戦勃発

→P e n t i u m IIからM M X技術を取り込んだ互換C P Uがいろいろ出てきた

○SUPERASCII 6月号

特集 最適なP C ' 9 7

→最適なP Cはなにか？97年のP C環境を総まとめ。個々の構成部品の選ぶための全情報掲載

スペシャル P e n t i u m P r oパフォーマンスチューニングその2

→性能を150%発揮させる方法

スペシャル モバイルデータ通信の新規格P I A F Sを探る

→P H Sのデータ通信P I A F Sの仕組みと使い勝手

○DOS/V magazine 6月1日号

特集 超P e n t i u m時代 ポストP 5の本命を探せ

→各C P Uのラインナップと、P e n t i u mキラー「K 6」の魅力

特集 ネットワーク時代のウイルス防御と駆除

→ネットワークから侵入する「マクロウイルス」。ウイルスの仕組みと種類とワクチンソフトの働きと注意しなければならない事